

2013年4月10日

ミャンマー政府が電通スポーツアジアを「東南アジア競技大会」の スポンサーシップ・マネジメント・コンサルタントとして指名

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）の海外子会社である電通スポーツアジア※1（本社：シンガポール、社長兼 CEO：森村 國仁）は、ミャンマー政府から、2013年12月11日から22日に、同国のネピドー市、ヤンゴン市、マンダレー市で開催予定の「27th SEA Games (Southeast Asian Games／東南アジア競技大会) ※2」のスポンサーシップ・マネジメント・コンサルタント※3として指名され、本日、ミャンマー財務歳入省と調印いたしました。

電通は本年2月に、アセアンおよびオセアニア地域のグループ各社を統括する電通アジアの支店として、ミャンマーに事業拠点を設立しています。今回のコンサルタント指名によって、電通スポーツアジアは、ミャンマー支店や電通アジア傘下の各国グループ拠点と連携し、日系およびグローバル、リージョナル、ローカルの既存・新規顧客に対して、同大会に関連した統合的な広告コミュニケーションの提案を行い、ミャンマーをはじめアセアン地域における顧客の企業・商品ブランド力のさらなる向上と事業拡大に貢献してまいります。

電通グループは同大会の成功に向けて多方面でサポートを行っていくとともに、当グループが強みとするスポーツマーケティング事業の知見・経験を生かしながら、ミャンマーでの事業展開を加速させていきます。

※1 電通スポーツアジア

シンガポールを拠点にアジア、中東、トルコ、アフリカ、オセアニアにおけるスポーツマーケティング（放送権、スポンサーシップ、イベントマネジメント、PR、選手エンドースメント等）およびコンテンツビジネスを展開する電通子会社。2010年設立。

※2 Southeast Asian Games／東南アジア競技大会

2年に1度（奇数年）、東南アジア地域において30競技以上の種目が開催されるオリンピックの東南アジア版ともいえるべき総合スポーツ大会。今回の開催国であるミャンマー以外に東南アジア10カ国（タイ、マレーシア、ベトナム、カンボジア、ラオス、シンガポール、フィリピン、東ティモール、インドネシア、ブルネイ）が参加。ミャンマーでの開催は、1969年以来44年ぶり。

※3 スポンサーシップ・マネジメント・コンサルタント

スポーツ事業における専門性を生かした大会運営に関するコンサルティングや、協賛企業とのスポンサーシップ契約、各国への放送権の販売など、大会全体の価値を高めるためのコンサルテーションを行う。

■調印直後の写真



左：森村 國仁（もりむら くにひと）
電通スポーツアジア 社長兼 CEO

中：マウン・マウン・テイン ミャンマー財務歳入省 副大臣

右：ハーディー・ヤン
電通アジア ミャンマー支店 支店長

以 上